

予防接種の目的

- ① 自分がかからないために
- ② かった時の症状を軽くするために
- ③ 家族やまわりの人にうつさないために

予防接種法に基づく定期接種のワクチン

誰もが受けるべき予防接種（A類疾病）

人から人に伝染する、又は病状の重篤になるおそれがあることから集団での予防が必要なもの（病気によって接種時期・期間が決まっています）

- ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎(ポリオ)
- B型肝炎
- Hib感染症
- 小児の肺炎球菌感染症
- 結核(BCG)
- 麻しん・風しん
- 水痘
- 日本脳炎
- ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症*
- ロタウイルス

※国内外の研究結果から、HPVワクチン接種による子宮頸がんの予防効果などのメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことが確認され、令和4年4月から個別に接種のお知らせを送る取組が順次おこなわれています。（厚生労働省HP：HPVワクチンに関するQ&A）

費用の一部に公費負担がある場合の予防接種（B類疾病）

個人の発病又はその重症化を防止併せてそのまん延予防が必要なもの

季節性インフルエンザ

インフルエンザワクチンは、インフルエンザの流行期の12月～3月の前の毎年10月頃から接種が開始されますので、流行前までに接種を終了させましょう！

（費用の一部助成は満65歳以上方と、60歳～64歳の方でも病気や障害により対象になる方もいます）

高齢者の肺炎球菌感染症

A肺炎球菌ワクチンは、日本人の死因第3位です。65歳以上に多い感染症で肺炎球菌によるものが最も多いです。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぐワクチンです。効果は5年以上持続するといわれています。

（費用の一部助成は65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方と、60歳～64歳の方でも病気や障害により対象になる方もいます）

● 新型コロナウイルス ワクチン

令和5年9月20日から生後6か月以上の全世代の方を対象にワクチン接種を開始しています。お住いの市町村から送付されるお知らせや自治体のホームページを確認ください。

あさクリ コラム COLUMN

「あふれる情報」

テレビ、ラジオ、新聞、インターネット、友人知人からの情報が日常的にあふれています。情報が多すぎて無意識に都合のいい情報を選択してしまうことは誰にでもある傾向です。正確な情報を得るには情報の信頼性を確認することが欠かせません。あさのクリニックでは国や行政、学会などが提供する情報を確認しながら、わかりやすくお伝えすることを心がけています。

FREE
PAPER
あさクリ

ASANO CLINIC IN SOJA

発行所
発行日
発行部数
発行期間

No. 91
10
2023

予防 接種

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。接種した方が病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうことで社会に病気が、まん延してしまうのを防ぐことを主な目的としています。病気にかかったとしても、ワクチンを接種していた方は重い症状になることを防げる場合があります。

参考：厚生労働省 HP 予防接種情報

VACCINATION